


フランス人日本語学習者の発話における 言い直しの出現パターンについて

谷澤 まどか（東京外国語大学博士前期課程）

近藤 野里（名古屋外国語大学）

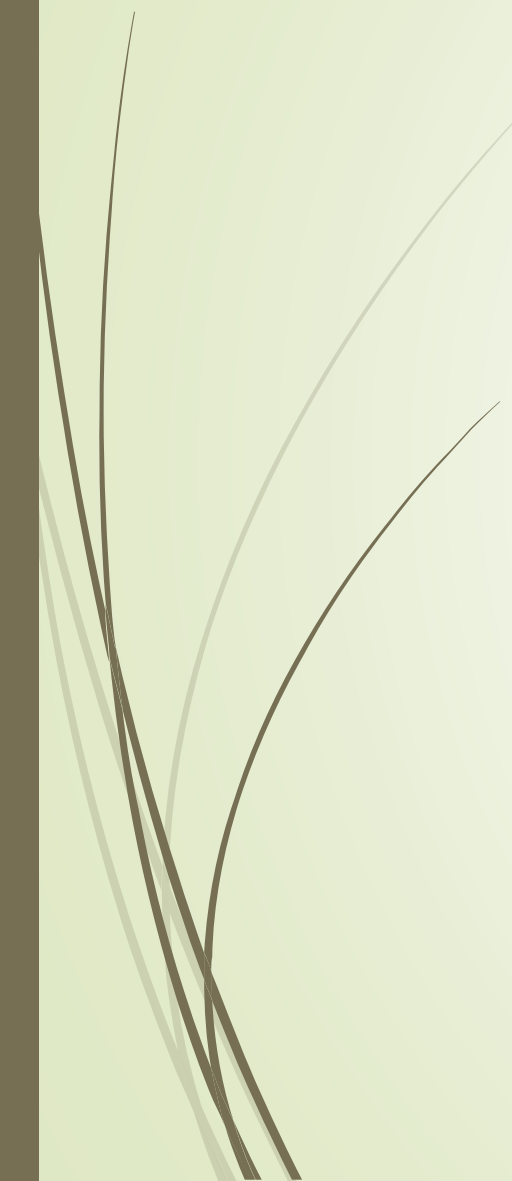



目次

1. 本研究の目的
2. 言い直し/自己修正文(self-repaired utterance)
3. 日本語学習者における自己修正に関する先行研究
4. 使用コーパス
5. 分析
6. 今後の課題
7. 参考文献



本発表の目的

- フランス人日本語学習者の発話における言い直し（自己修復文:self-repaired utterance）の出現パターンを分類すること
- 



「言い直し」

- ▶ 人間の自然な発話には間投詞や**言い直し**が含まれる。特に間投詞に関しては、1文に1個以上の割合で出現し、また**言い直し**に関しても10文に1～2回程度の頻度で出現している。(中川・小林, 1994)
- ▶ 話し言葉に現れる不適格性の中で、最も頻度の高いものは話者自身による言い直しである**自己修復 (self-repair)**である。(佐川・大西・杉江, 1994)

言い直し (自己修正:self-repaired)

- ▶ Self-repair is **a repair of utterance by speaker him/herself** 「自己修正は話者自身による発話の修正である。」 (Sagawa et al. , 1988)
- ▶ 話者は、発話中常に自らの発話をモニタしており、不適格な表現に気づいたときは、**発話を中断して、それを修復する。** (佐川・大西・杉江, 1994)
- ▶ A self-repair comes with an **interruption of utterance.**<...>self-repaired utterance can contain a **syntactic break.** 「自己修正は発話の中断を伴う」「自己修正文は統語的断絶を含みうる」 (Sagawa et al. , 1994)
- ▶ “Repair” refers to the phenomenon of oral communication in which **conversationalists correct their own or interlocutors’ “errors, unintended forms, or misunderstandings during conversation.”** 「“修正”とは口語コミュニケーションの一要素であり、会話における自己または対話者によって意図せずなされた“誤り”あるいは誤解を修正すること」 (小坂, 1997)

言い直し (自己修正:self-repaired)

- ▶ 繰り返しと自己修正の違いとは：

repetition as reproduction of the same utterance or part of the original utterance. On the other hand, self-correction means repeating the same utterance or its constituent **accompanied by structural or semantic change**.

「繰り返しは同じ発話あるいは元の発話の一部を再生成することである。一方、自己修正は同じ発話あるいは構造的もしくは意味論的な変化を伴う発話の構成要素の反復を意味する」(Fathman 1980)

- ▶ the term “self-repair” refers to **structural or semantic correction** as well as paraphrasing of the original utterance to supply additional and specific information. 「“自己修正”とは元の発話に詳細な情報を追記することにより言い換えを行う、構造的または意味論的な修正を意味する」(小坂, 1997)

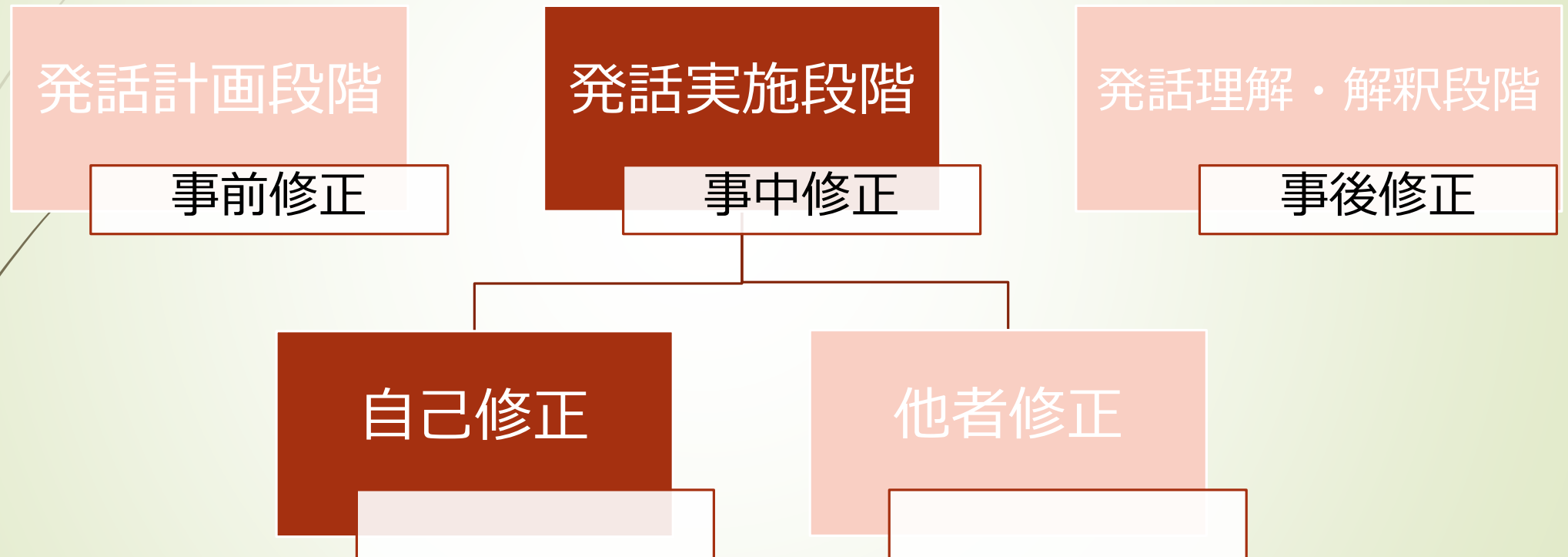
自己修正文 (self-repaired utterance)

猪崎(1997)



自己修正文 (self-repaired utterance)

猪崎(1997)



自己修正文 (self-repaired utterance)

- ▶ 自己修正文の中でも修正が話者自身に先立つ文 (self-initiated self-repair)のみを扱うとする

a. Self-initiated self-repair

A: Yamada-san kyoo wa Nagoya desu ne a chiatta Koobe datta.

b. Other-initiated self-repair

A: Yamada-san kyoo wa Nagoya desu ne.


B: Chigai masu yo.

A: A Kobe datta.

(以上の例文は小坂(1997)より引用)

研究対象のまとめ

- 自己修正文 (self-repaired utterance)
- 発話者自身による発話の修正
- 話者は、発話中常に自らの発話をモニタしており、不適格な表現に気づいたときは、発話を中断(統語的断絶を伴う)して、それを修復する。
- 同じ発話あるいは構造的もしくは意味論的な変化を伴う発話の構成要素の反復を意味する
- 発話実施段階において修正が話者自身に先立つ文のみを扱う



先行研究：小坂(1997)

- ▶ アメリカ英語を母語とする日本語学習者6名
- ▶ 中級日本語学習者3名と上級日本語学習者3名
- ▶ 日本語母語話者との対話
- ▶ 自己修正文(self-initiated self-repairに限る) の観察

先行研究：小坂(1997)

- i. phonological changes
 - **w**arau no ga → **n**arau no ga
- ii. morphological changes
 - jitensha de mo arui....→**te** MO
- iii. particle change
 - gakko **ni** benkyoo shimashi→gakko **DE** benkyoo shimashita
- iv. lexical change
 - **chuushin** gurai→**man'naka** gurai
- v. insertion
 - sono toki GA nihon no hoo NI hikkoshi mashiTE **California no hoo kara hikkoshi shimashiTE..** etto gonenkan gurai nihon ni sunde mashiTE
- vi. false start
 - watashi wa **ani** yori.. go-nen..toshi.. ah go-nen.. ah su sumimasen **Ane** wa watashi yori go-nen toshiue desu

先行研究：小坂(1997)

➡ 中級学習者：

- 形態・音声の点における修正が目立つ
- 詳細な情報を追加し、意味の解明度を上げるような修正 (anticipatory repair) はあまり見られない

➡ 上級学習者：

- 文の挿入、統語的交替を頻繁に使用

使用コーパス

- ▶ 科研費16H03442 基礎研究 (B)「フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析」の中で録音されたフランス人日本人学習者4名による発話の録音
- ▶ 日本語母語話者によるガイド付きインタビュー
- ▶ 学習者同士の自由会話

	インフォーマントA	インフォーマントB	インフォーマントC	インフォーマントD
職業	大学生	大学生	大学生	大学生
日本語学習歴	2年	高校生のころから	3年	3年
特記		通信講座にて高校生のころから日本語学習 高校生の時日本にショートステイの経験あり		

データ

インフォーマントA		インフォーマントB		インフォーマントC		インフォーマントD	
ガイド付き	自由会話	ガイド付き	自由会話	ガイド付き	自由会話	ガイド付き	自由会話
1091文字	1027文字	1157文字	485文字	985文字	1841文字	1354文字	3498文字

単語の修正

- 単語レベルでの言い淀みが多く観察されたため、「単語」という項目を加えておく

例

- えーっとフランス語 **え 英語** 日本語
- 外で聞こえる日本語 <あーうんうん> と思います 特に
<それは> うーん なんだろ **ほ 方言**
- んー、あー、名古屋市、じょうで、とてもおいしいつ、つくねを食べました

分析1：自己修正の分類（ガイド付きインタビュー＋自由会話）

	インフォーマントA	インフォーマントB	インフォーマントC	インフォーマントD
単語	32	5	8	3 4
1 phonological changes	0	0	0	7
2 morphological changes	9	3	5	2 8
3 particle change	4	3	2	2 7
4 lexical change	3	4	5	2 7
5 insertion	4	3	2	3 1
6 false start	3	8	1	1 5

1 phonological changes について

- ➡ 音声的な間違いがあっても修正しないことが多い

例

- ➡ うーん、あ！あと、うーん、フランスでは、牛乳は euh hum 大体、6**ホテル**を売ってます、でも日本で、ah牛乳の**ホテル**が一つだけ、euh かわらなければなりません、えっとー、わか、分かります？
- ➡ **やだい**です、や、**やだい**でしたか？

分析 2 : 自己修正分類 ガイド付きインタビュー

	インフォーマントA	インフォーマントB	インフォーマントC	インフォーマントD
単語	19	4	2	10
1 phonological changes	0	0	0	1
2 morphological changes	6	3	4	11
3 particle change	3	1	0	7
4 lexical change	1	3	2	8
5 insertion	2	2	1	7
6 false start	1	7	0	2

分析 3 : 自己修正分類

自由会話

	インフォーマントA	インフォーマントB	インフォーマントC	インフォーマントD
単語	1 3	1	6	2 4
1 phonological changes	0	0	0	6
2 morphological changes	3	0	1	1 7
3 particle change	1	2	2	2 0
4 lexical change	2	1	3	1 9
5 insertion	2	1	1	2 4
6 false start	2	1	1	1 3

分析 2 と分析 3 より

- ▶ 日本語母語話者とのガイド付きインタビューの時の方が学習者同士の自由会話の時に比べて、自己修正が増える傾向にある
- ▶ 1. phonological changes を除き、どの自己修正の形においても母語話者とのガイド付きインタビューでは自己修正が増える傾向にある
- ▶ 単語レベルでの言い淀み・修正が非常に多い
- ▶ 対話者が母語話者であることにより、より正しく話そうとする意識が働くのではないかと思われる
- ▶ 対話者との関係が自己修正に影響する可能性が考えられる



分析 4 : 冗長表現

自己修正文の構造

- 適正部分
- 修正対象
- **冗長表現**
- 修正部分

(佐川・大西・杉江、1994)

分析4：冗長表現「あの一」、「まあ/ま/ま一」、「なんか」

- ▶ 「あの一」と「まあ/ま/ま一」は5. insertion（挿入）の時に冗長表現としてしばしば使用される
- ▶ これらの冗長表現には新しい情報を追記し、文を言い換える機能があると考えられる

例

- 日本 **ま** **あの** 学位は2つで <うんうんうんうん> 日本語も心理学も勉強しています <あ>
- え 面白いのは <うん> 一つありますけど **あの一** 車で ちょっと病気になって <ん一>
あの 彼氏と両親と一緒に 車の中で **ま一** 車でなんか時間過ごしてちょっと <うんうん> 病
気になって
- そのときは **あの一** あるお寺に と お坊さんが **ま一** そ そのお坊さんは日本語しかしゃべれ
なかった <うんうんうんうん> んだけど・・・
- ・・・・お金を**まあ**千へん（*千円）をつかひ 使い します・・・
- 自分での つ **なんか**自分で作った留学でした（笑） <あ一>
- それか、ちょっと、高校生、**なんか**、女子高生から、聞いたのは（うん）、バイトする理由はお金を
もらいたくて、そのお金の使い方は遊ぶこと

分析 5 : 助詞 + 動詞

- ▶ 助詞を修正する際あるいは動詞の活用を修正する際に見られる
- ▶ 「助詞 + 動詞」というまとまりで修正をされる
- ▶ 主語は言い直さない

例

- あ、名古屋の街は、えっとー、日本の中央に <うんうんうん> いますから、他のの街、**を観光す**、euh **で観光する**ために <うん> ととても便利だと <あー> 思います
- えっとー、初めて euh 十四歳の時、じゅほんというへいが**を** <うんうんうん> **見た**、**を見て**、euh 怪談の話について <おー>興味になりました <うんうんうん>
- 一番良い方法？んー え、今は euh euh日本、日本、日本で euh ゲームをしています euh XXX <うんうんうん> のゲームを、を、**をし**、**をしながら**、日本語を勉強しています...

日本語母語話者コーパス

日本語話し言葉コーパスCSJ

- ▶ で逆にあのー自分達では楽しんでるつもりでもまー逆に言えば**ま**緑を求めているのかもしれないとそういうのをま感じるんですけど例えば自分の
([S11M1136](#)3005018100)
- ▶ あのー審査発表ということでまー当日の司会者が出てきましてまー番号をまー読み上げてくんですけどもちょうど真ん中辺ぐらいで百二十三番と言われまし
([S01M0450](#)1920011770)
- ▶ ますけどニセコが他のニセコにならないようにその地名のおー保存ということをおーましなければいけないんだらうえ北海道の大学の地理学の先生でえー
([A06M0046](#)202240120550)
- ▶ も言えないと言っていましたえー本当にあのー無の世界からね有の世界をあのー生み出すクリエイティブな仕事に従事してるそういう魂がですねあのー見る人に深く
([S04M0243](#)2969017460)

分析 5 : 助詞 + 動詞


- ▶ 助詞「を」周辺の文を観察したところ、前後に「まー/ま」などの冗長表現あるいは、単語内のある音の伸び、語の言い換えは見られたが、「を + 動詞の活用の修正」という形は見られなかった
- ▶ 助詞の前に主語が来ているため、助詞の前で文の句切れが来ることがない
- ▶ 助詞の選択、助詞そのものに学習者ほど意識が向いていないのではないかと思われる
- ▶ 助詞と動詞の結び付き方がフランス語と日本語で異なるため、母語干渉の影響も考えられる

今後の課題

- インフォーマント数を増やし、フランス人日本語学習者の発話における言い直し・自己修正の一般的な傾向を探る必要がある。
- 今回採用した分類では不十分と考える。各分野（音声、形態、など）からより厳密な考察をする必要がある。
- 日本語母語話者のコーパスと一部照らし合わせ、フランス人日本語学習者の特徴を示そうと試みたが、具体的な数値を出すまでに至らなかった。今後さらに双方のデータを増やし、観察を進めることを課題とする。

参考文献

- 猪崎保子：日本人とフランス人日本語学習者の会話に見られる「修正」ストラテジー、『世界の日本語教育』、7.(1997)
- 小坂昌子：自己修正と日本語の運用力の関係について、『日本語国際センター紀要』 7, pp.1-16, (1997)
- 佐川雄二、大西昇、杉江昇：自己修復を含む日本語不適格文の分析とその計算機による理解手法に関する考察、情報処理学会論文誌、Vol.35,No.1, pp.46-52(1994)
- 佐川雄二、大西昇、杉江昇：大規模コーパスに基づいた日本語自己修正文の分析、情報処理学会研究報告、93-NL100、pp. 73-80.(1994)
- 中野幹生、島津明：言い直しを含む発話の解析（〈特集〉並列処理）、情報処理学会論文誌、Vol.39,No6.(1998)
- Levelt,W.J.M.:Speaking: From Intention to Articulation, Chapter 12, pp.458-499,The MIT Press, Cambridge,MA(1988)
- Fathman, A.:K.Repetition and correction as an indication of speech planning and execution processes among second language learners. In H.W. Dechert and M.Raupach(Eds.), *Toward a Cross-Linguistic Assessment of Speech Production*, pp.77-85). Frankfurt a. M.: Verlag Peter D.Lang.(1980)
- Saga-, Y., Ohnishi, N. and Sugie, N.: A Parser Coping with Self-Repaired Japanese Utterances and Large Corpusbased Evaluation, Proc. of 15th Int. Conf. on Computational Linguistics, 593-597 (1994).



使用コーパス

- 科研費16H03442 基礎研究 (B)「フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析」研究代表者 川口裕司：フランス人日本語学習者コーパス
- 国立国語研究所：日本語話し言葉コーパス(Corpus of Spontaneous Japanese : CSJ)



謝辞

- 本研究は、JSPS科研費16H03442基礎研究（B）「フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析」研究代表者 川口裕司の助成を受けたものです。